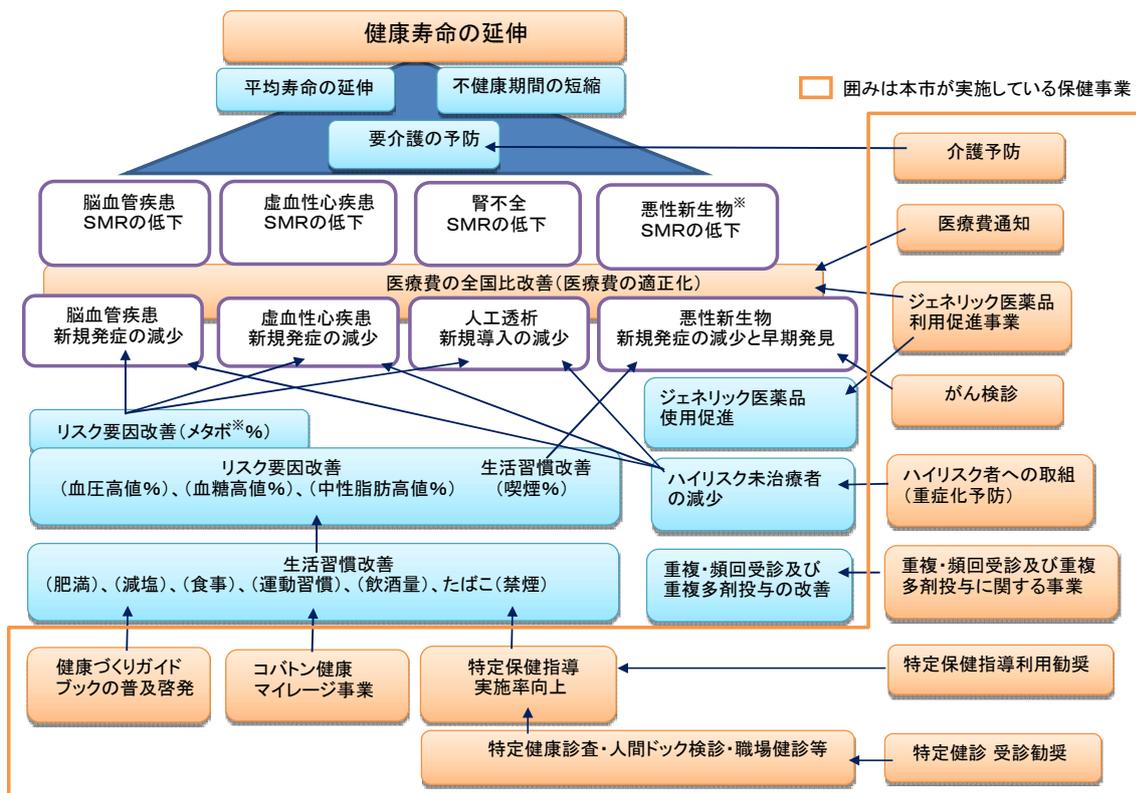


4 データヘルス計画の概要（年度別実施状況）

★目的の番号は、7ページ「個別保健事業の評価と見直し」の目的の番号と一致しています。

★目的	事業名	第1期朝霞市保健事業実施計画 (データヘルス計画)										第2期朝霞市保健事業実施計画 (データヘルス計画) 第3期朝霞市特定健康診査等実施計画					事業目的及び概要	
		第1期朝霞市特定健康診査等実施計画					第2期朝霞市特定健康診査等実施計画											
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4		R5
特定健康診査受診率 特定保健指導実施率 の推移	<p>● 特定健康診査受診率 ■ 特定保健指導実施率</p>																	
①特定健康診査の受診率を向上させる	特定健康診査	事業開始	・健診項目拡大 ・健診期間延長	・健診期間延長	・他健診受診者からの情報提供開始	・生活機能評価同時実施廃止	・こくほの総合健診開始	・保健事業係創設	・懸垂幕掲示開始 ・TV、ラジオCM ・商工会、JAにPR ・職員がPRポロシャツ着用しPR開始	・健診項目拡大 ・小中学生チラシ配布開始	・健診項目の拡大(腎機能検査eGFRが含まれた)						糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防する	
	こくほの総合健康診査					( )内は女性限定日	2回 (1回)	4回 (2回)	5回 (3回)	5回 (3回)	5回 (3回)	5回 (3回)	5回 (3回)					平日受診できない方の休日の受診機会を確保する
	人間ドック							自己負担金額変更										疾病の早期発見及び生活習慣病を予防する
	特定健診等受診率向上キャンペーン					県内合同実施2回	朝霞地区4市でスタート2回	2回	2回	2回	1回	1回	1回					健診の必要性について、広くPRを行う
	受診勧奨通知の発送		年1回					年2回に変更			40歳到達者に異なる内容で通知							健診期間内で未受診者に対して受診勧奨を行う
	他健診受診者のデータ収集				粗品なし	粗品なし	ボールペン等	エコバック	クオカード500円	クオカード500円	クオカード500円	クオカード500円	クオカード500円					他の健診を受けた者から、健診結果の情報提供を受ける
②健康への意識改革	健康づくりガイドブックの発行	生活習慣全般	運動	食習慣	休養 こころ	歯	たばこ	身体活動	健康づくりスポット	食習慣	アルコール たばこ	身体活動	食習慣					ポピュレーションアプローチ*として被保険者の生活習慣改善に役立つ情報を提供する
	健康マイレージ事業										事業開始						歩いた歩数によりポイントを付与し、抽選により景品を贈呈する(埼玉県コバトン健康マイレージ事業に参加)	
③保健指導の実施率を向上させる	特定保健指導	事業開始(健康づくり課)						委託開始(保険年金課)	電話勧奨開始									生活習慣を改善するために保健指導を行い、生活習慣病を予防する
④適正受診及び適正服薬を促す	重複・頻回受診及び重複・多剤投与に関する事業							事業開始						重複多剤開始				医療の適正受診を促し、医療費の適正化を図る
⑤生活習慣病の重症化を予防する	糖尿病性腎症重症化予防対策事業(ハイリスク者への保健指導)								モデル事業								糖尿病性腎症で通院する患者のうち、重症化するリスクの高い者に生活指導を行い、人工透析への移行を防止する	
	糖尿病性腎症重症化予防対策事業(受診勧奨事業：糖尿病)								モデル事業								特定健康診査の結果から、糖尿病が重症化するリスクの高い医療未受診者・受診中断者を医療に結びつける	
	受診勧奨事業(循環器疾患)【独自実施】									事業開始							特定健康診査の結果から、循環器疾患が重症化するリスクの高い医療未受診者・受診中断者を医療に結びつける	
⑥その他	後発医薬品の差額通知						2回	2回	1回	1回	1回	1回	1回				後発医薬品の利用促進を図る	
	医療費通知	6回	6回	6回	6回	6回	6回	6回	6回	6回	6回	6回	6回				①医療費実態の自覚、健康への努力を促す ②診療報酬の不正防止	
	保養施設利用補助事業							補助金額変更									被保険者の健康の保持増進及びリフレッシュを図る	
	日帰り入浴施設利用補助事業						休止										被保険者の健康の保持増進及びリフレッシュを図る	

## 5 朝霞市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)全体の関連図



出典: 国立保健医療科学院資料をもとに作成  
 ※SMR(標準化死亡比)とは、全国を基準(=100)とした場合にその地域での年齢を調整したうえでの死亡率がどの程度高い(低い)のかを表現したものの。

### 評価指標の視点

「健康寿命の延伸」及び「医療費適正化」のため、本市は特定健康診査や特定保健指導の実施及び生活習慣病の重症化予防対策事業に取り組んでおります。

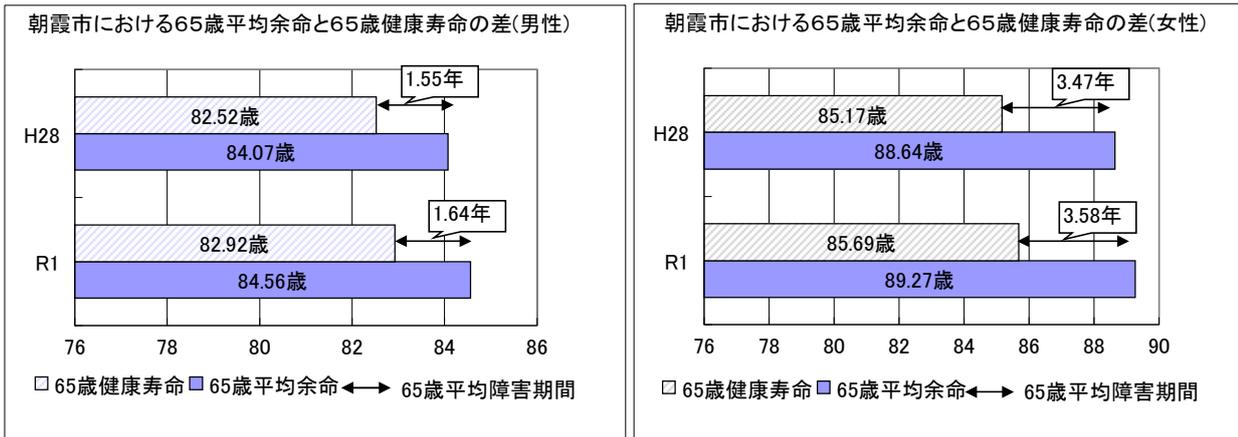
生活習慣病は、一般的にBMI<sup>\*</sup>、血圧、血糖等の「リスク<sup>\*</sup>因子」を多く抱える被保険者に対して、保健指導等を実施することで「疾病の発症」、「重症化」を予防し、「要介護状態」に陥ることなく「生涯を終えた」結果、「平均寿命<sup>\*</sup>」及び「健康寿命」が延伸するというメカニズムに着目し、評価をおこないます。

個別保健事業を行う背景となる事業全体の状況を、主な評価指標から把握することで、最終年度の評価に向けた事業の見直しも可能となります。

## 6 評価指標からみた現状（まとめ）

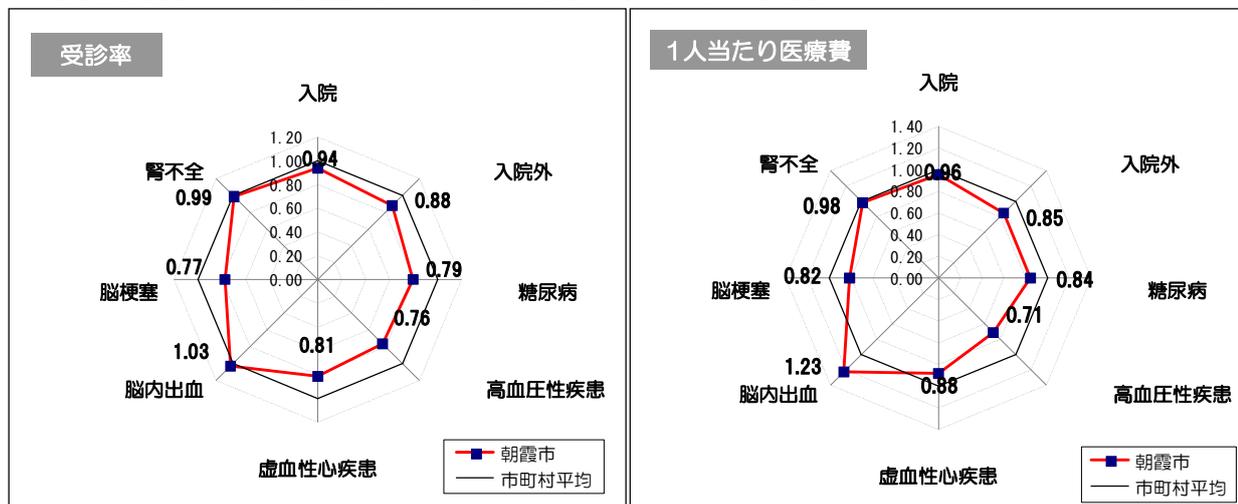
健康度を示す項目				①ベースライン H28年度	②中間評価 R1年度	③中間評価 (①と②の比較) 良い ← → 悪い	④最終年度目標 R5年度
生命表	平均寿命	男性	(歳)	80.48	81.32	●	維持
		女性		86.37	87.25	●	維持
	65歳平均余命	男性		84.07	84.56	●	維持
		女性		88.64	89.27	●	維持
	65歳健康寿命	男性		82.52	82.92	●	維持
		女性		85.17	85.69	●	維持
標準化死亡比 (SMR) <sup>※</sup> 全 国を100と した場合の比	総死亡	男性	97.5	93.9	●	減少	
		女性	100.8	101.9	●	減少	
	心筋梗塞	男性	99.9	80.5	●	減少	
		女性	98.4	135.7	●	減少	
	脳梗塞	男性	96.3	103.3	●	減少	
		女性	89.9	83	●	減少	
	腎不全	男性	67.9	97.8	●	減少	
		女性	63.3	106.5	●	減少	
医 療	1人当たり 医療費	医療費(療養諸費費用額)	(円)	296,724	328,381	●	維持
		糖尿病		7,443	9,242	●	維持
		高血圧性疾患		9,591	10,257	●	維持
		虚血性心疾患		5,495	5,016	●	維持
		脳内出血		2,422	4,347	●	維持
		脳梗塞		4,984	5,014	●	維持
		腎不全		15,979	14,056	●	維持
	新規人工透析導入者	(人)	21	19	●	年10人以下	
健診	特定健康診査受診率		(%)	41.8	44.8	●	60
	特定保健指導実施率			25.5	18.3	●	60
	特定保健指導対象者の減少率			11.2	10.3	●	H20年度比-25 ポイント
	質問票	喫煙 男性		25.1	24	●	減少
		喫煙 女性		8.3	7.5	●	減少
		毎日 飲酒 男性		46.3	43.2	●	減少
毎日 飲酒 女性		12.9	12.5	●	減少		
介護	第1号被保険者 <sup>※</sup> 数		(人)	25,852	27,340	—	—
	第1号認定者数			4,043	4,600	●	維持
	第1号認定率			15.6	16.8	●	維持

## 65歳平均余命と65歳健康寿命の差について



「65歳平均余命」とは、65歳に達した方の平均生存年数を表します。  
 「65歳健康寿命」とは65歳の方が介護を必要とせず、健康で日常生活を支障なく送ることができる寿命のことです。  
 「65歳平均余命」と「65歳健康寿命」の差を「65歳平均障害期間」といい、病気や障害などで介護を必要とする期間のことです。

## 生活習慣病による受診率及び医療費の状況 (R1年度)



### 【出典】

- 生命表：埼玉県衛生研究所「健康指標総合ソフト」(R1年度版)
- 標準化死亡比(SMR)：厚生労働省 人口動態特殊報告 人口動態 保健所市町村別 (H28年度分) 平成20～24年 (R1年度分) 平成25～29年
- 医療：国民健康保険事業状況(速報値) 令和元年度  
埼玉県国民健康保険における医療費及び特定健診等の状況  
生活習慣病疾病別1人当たり医療費  
(H28年度分) 平成27年度 (R1年度分) 平成30年度  
KDBシステム 健診・医療・介護からみる地域の健康課題(H28・R1年度累計)  
疾病別医療費分析(細小(82)分類) (H28・R1年度累計)
- 健診：法定報告(H28・R1年度)  
KDBシステム「質問票調査の状況」(H28・R1年度累計)を国立保健医療科学院  
「年齢調整・質問票調査の状況ツール」で加工し作成
- 介護：第1号被保険者及び認定者数 介護保険事業状況報告(9月月報)  
長寿はつらつ課提供